

## 平成25年度第6回青森市指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 青森市戸山市民センター
- 2 開催日時 平成26年2月20日(木) 10:20~11:30
- 3 開催場所 青森市戸山市民センター
- 4 出席者
  - (1) 選定評価委員 委員長 相馬 紳一郎(市長公室次長)  
委員 岩船 彰(青森中央学院大学教授)  
委員 西村 晴夫(東北税理士会青森支部税理士)
  - (2) 制度所管課(事務局) 市民政策課 主幹 福島 清裕  
主事 石戸谷 勉  
主事 田中 浩司
  - (3) 施設所管課 中央市民センター 館長 今 牧彦  
主幹 相馬 利之  
主査 成田 恵悦
  - (4) 指定管理者 青森市戸山市民センター管理運営協議会  
館長 山上 春美
- 5 欠席者 鈴木 裕司 副委員長(総務部次長)  
増田 一 委員(企画財政部次長)
- 6 議題 委員会によるモニタリング調査
- 7 会議概要

施設の管理運営状況等について、各委員から施設所管課及び指定管理者へヒアリングを行い、ヒアリング終了後、施設内を視察した。

### (1) 主な質疑内容

委員：施設所管課の平成24年度モニタリング調査によると、職員の研修が行われていないと指摘があったが、その後どのように改善されているか。

施設所管課：研修を行っていない理由が、業務員が全員揃うことが少ないからということであったが、日常的な業務に関する内部研修などを工夫しながら行っていくよう指導している。

委員：現在は、工夫しながら研修を実施しているということよろしいか。

施設所管課：中央市民センターから指定管理者へ外部研修についての案内もしており、平成25年度は16ミリ映写機操作の研修などを実施したほか、生涯学習推進員に相談するなどしている。

委員：市の接遇研修には、ほかの市民センターの指定管理者も含め、参加しているか。

施設所管課：施設を開館している事情もあって、積極的に出席は無い状況である。

委員：危機管理マニュアルは作成しているか。

施設所管課：作成されている。戸山市民センターは避難所でもあるので、今年度は、館長会議において危機管理課の職員を招き、取扱いについて研修を行った。

委員：防災訓練は行っているか。

施設所管課：年2回行っている。

委員：AEDは設置しているか。

施設所管課：市の設置基準を満たしていないため設置されていない。

委員：個人情報保護に関する体制は整備されているか。

施設所管課：マニュアルを作成している。

委員：マニュアルの内容は、業務員には周知されているか。

施設所管課：周知されており、簿冊等はキャビネットに保管して施錠し、館長が鍵を保管するなど、個人情報保護に努めている。

委員：環境マネジメントシステムの導入について、具体的にはどのような内容か。

施設所管課：電気量やコピー枚数等について目標を定め、省エネルギーに取り組むという内容である。

委員：施設所管課のモニタリング調査において、郵券の管理に関する事務処理ミス等について指導されていたが、その後改善されているか。

施設所管課：改善されていることを確認している。

委員：施設の管理運営において、利用者の意見を反映して講座等の企画立案は行っているか。

施設所管課：講座開催後はアンケートを行い、その意見等を反映して講座を開催しているほか、「意見BOX」を設置し、利用者の意見等の把握に努めており、頂いた意見等については、中央市民センターに報告してもらい、対応と一緒に検討している。

委員：仕様書に規定している市民スクールの開催回数について、平成25年度からは「年間50回以上」を「年間37回以上」に変更しているとのことだが、こういった理由からか。

施設所管課：市民センターの実状に合わせて37回以上に変更したが、同時に、平成25年度は寿大学に防災学習や雪対策の公開講座を組み入れるなど、講座の組み方を工夫している。

委員：冬期の講座の開催が少ないように思われるが、こういった理由からか。

施設所管課：雪による利用者の利便性に配慮したものであるとのことだが、年間を通して講座を開催するよう指導していく。

委員長：施設の管理運営に当たって、指定管理者から市へ意見等あるか。

指定管理者：建築してから27年経過し、施設が老朽化してきているため、利用者には

安全に利用してもらいたいということを一番思っており、今後も出来る限り安全面について、市には対応していただきたいと思っている。